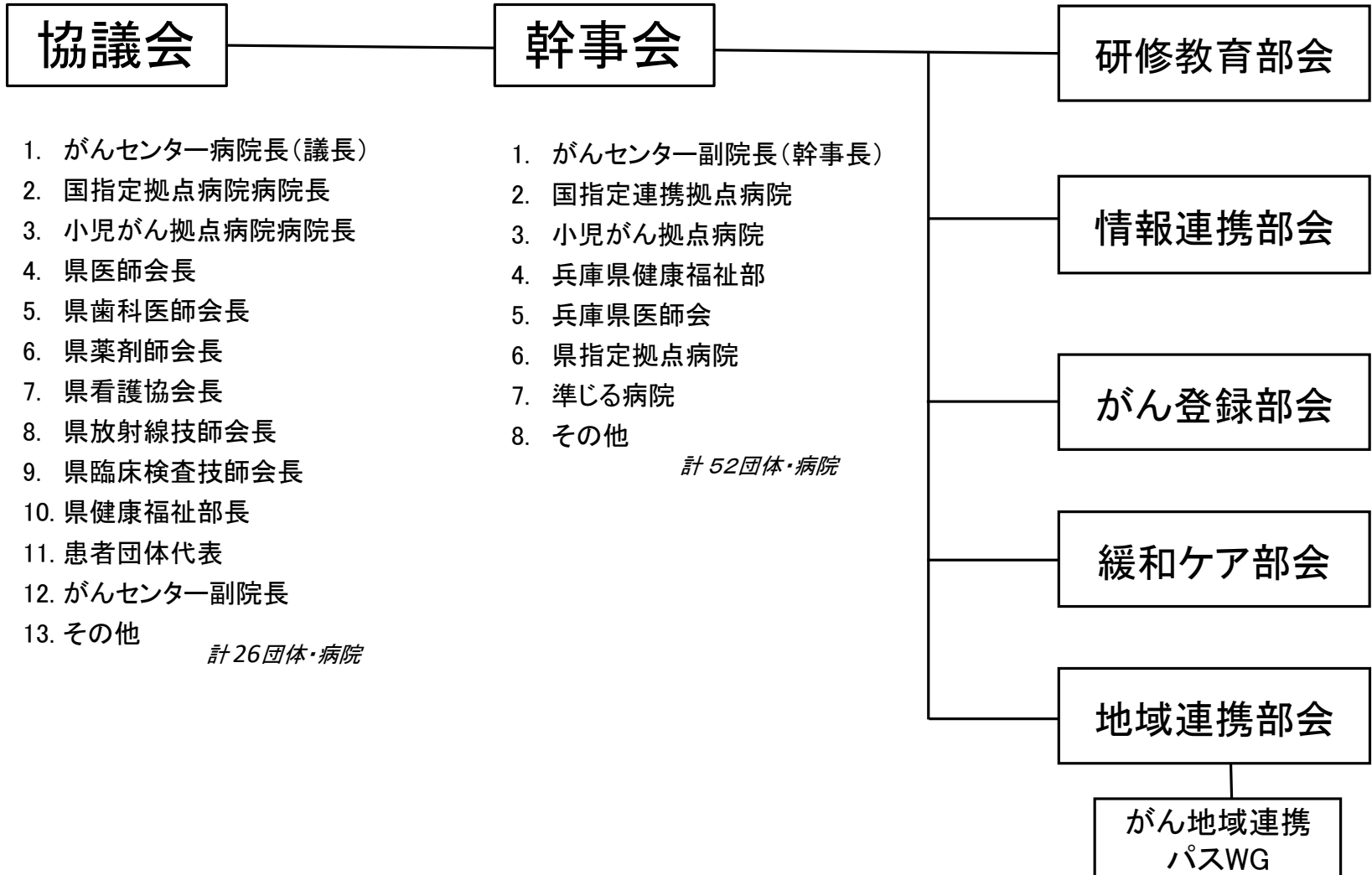


兵庫県がん診療連携協議会の組織体制



3 協議会・幹事会並びに各部会の2019年度活動報告 及び2020年度活動計画について

兵庫県がん診療連携協議会・幹事会関連

項目	内容
2019年度の活動報告	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2019年4月11日(木) 兵庫県がん診療連携協議会(第14回) 開催 ○ 2019年6月6日(木) 第1回幹事会 開催 ○ 2020年2月20日(木) 第2回幹事会開催 ○ 2019年11月16日(土) 兵庫県がん診療連携協議会主催 208名参加 第9回「ひょうご県民がんフォーラム」開催 場所:兵庫県民会館9階「けんみんホール」 テーマ:「動き出した がんゲノム医療」 担 当: 県立がんセンター、市立西脇病院、県立淡路医療センター
2020年度の活動計画 及び今後の検討課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2020年4月9日(木) 兵庫県がん診療連携協議会(第15回) ※COVID-19の影響により開催中止 ○ 2020年6月4日(木) 第1回幹事会 ※COVID-19の影響により開催中止 ○ 2021年2月4日(木) 第2回幹事会 開催 ○ 2020年10月24日(土) 兵庫県がん診療連携協議会主催 第10回「ひょうご県民がんフォーラム」開催 場所:兵庫県民会館9階「けんみんホール」 テーマ:「未定」 担 当: 関西労災病院

兵庫県がん診療連携協議会「研修・教育」部会関連

項目	内容
2019年度の活動報告	<ul style="list-style-type: none"> ○ がん看護実務研修の開催（兵庫県立がんセンター） 2019年6月3日～8月30日のうち28日間、及びフォローアップ研修 2020年2月21日（金） 30施設 実参加人数 184名 ○ がん診療連携拠点病院を対象とする 「第5回 兵庫県がん化学療法チーム医療研修会」の開催 2019年10月22日（火・祝） 兵庫県立がんセンター 2F 大会議室 テーマ:「AYAがん～若年成人がん患者・家族をチームで支える～」 7チーム 65名参加 ○ セミナーの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・研修・教育部会セミナー 2019年10月26日（土） 兵庫県民会館11階パルテホール テーマ:「がんゲノム医療の実際」 125名参加 ・検査セミナー 2019年12月21日（土） 兵庫県私学会館 4階 大ホール テーマ:「遺伝子で分類するがん」 117名参加 ・薬剤師セミナー 2020年1月18日（土） 兵庫県私学会館 4階 大ホール テーマ:「がんゲノム医療」 156名参加 ・放射線セミナー 2019年10月12日（土）、及び2020年2月29日（土）いずれも開催中止 テーマ:「食道がんの診断と治療 -update-」 ○ 共催研究会・県民フォーラムなど <ul style="list-style-type: none"> ・第9回ひょうご県民がんフォーラム 2019年11月16日（土） テーマ:「動き出した がんゲノム医療」 兵庫県民会館 9階 けんみんホール 担当施設:◎県立がんセンター、市立西脇病院、県立淡路医療センター (地域別で持ち回りにて開催する) 208名参加
2020年度の活動計画 及び今後の検討課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○ がん看護コアナース育成セミナー(旧がん看護実務研修)の開催（兵庫県立がんセンター） 2020年7月8日～8月21日のうち15日間、及びフォローアップ研修 2021年2月26日（金） (開催中止) ○ がん診療連携拠点病院を対象とする 「第6回 兵庫県がん化学療法チーム医療研修会」の開催 日程未定 兵庫県立がんセンター 2F 大会議室 テーマ:「未定」 ○ セミナーの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・放射線セミナー 2020年10月31日（土） 兵庫県民会館11階パルテホール テーマ:「食道がんの診断と治療 -update-」 ・研修・教育部会セミナー 2020年10月10日（土） 兵庫県民会館11階パルテホール テーマ:「がん医療におけるAI」 ・検査セミナー 2020年12月 5日（土） 兵庫県民会館11階パルテホール テーマ:「未定」 ・薬剤師セミナー 2020年12月19日（土） 兵庫県民会館 9階けんみんホール テーマ:「未定」 ○ 共催研究会・県民フォーラムなど <ul style="list-style-type: none"> ・第10回ひょうご県民がんフォーラム 2020年10月24日（土） テーマ:「未定」 兵庫県民会館 9階 けんみんホール 担当施設：◎ 関西労災病院

《2019年度 PDCA サイクル実施計画・管理表》

2020年 3月 31日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)
研 修 教 育 部 会	がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成	がん医療・看護の質向上をはかり、がんに関する知識が実践に繋がるような研修が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・学んだ知識を自部署、自施設での看護に活かせるように研修内容を検討し、ELNECを取り入れる。 ・研修参加の対象者をがん看護の実践力向上をはかりたい方と明確にし、がんに関する知識の向上だけでなく実践に繋がるようにする。 <p>★ 実施時期:2019年6月3日～8月30日 フォローアップ研修として2020年2月21日</p>	2020年3月	○	概ね達成	<ul style="list-style-type: none"> ・県内医療機関12施設14名の研修参加があり、14名修了した。講義ごとの聴講は、全29講義で延べ498名の参加があり活気ある研修会となった。 ・ELNEC-JIには33名の参加者があり、実務研修の内容に組み込むことで効果的な学習を行うことができた。 ・修了後評価においても研修生、及びその管理者より良い評価を得た。 	継続	今後も地域のがん看護の推進・向上にむけて効果的な研修の企画開催を行う。
		医療関係者の育成については、セミナーの開催などにより継続的に行う必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ○ セミナーの開催 1) 放射線セミナー 2019年10月12日(土) 県民会館「パルテホール」 テーマ:食道がんの診断と治療-update- 2) 研修・教育部会セミナー 2019年10月26日(土) 県民会館「けんみんホール」 3) 検査セミナー 2019年12月21日(土) 兵庫県私学会館 4) 薬剤師セミナー 2020年1月18日(土) 兵庫県私学会館 	2020年3月	○	概ね達成	<ul style="list-style-type: none"> 医師、薬剤師、看護師、放射線技師、臨床検査技師など、チーム医療に関わる医療従事者を対象としたセミナー・研修会を行い、医療レベルの向上を図った。 放射線セミナーについては、台風やCOVID-19の影響により開催を延期した。 がん化学療法チーム医療研修会 7チーム 65名参加 研修・教育部会セミナー 125名参加 検査セミナー 117名参加 薬剤セミナー 156名参加 	継続	国指定、県指定及び準じる病院の拠点病院、その他医療機関に対して、引き続き積極的な参加を呼びかける。
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 県民フォーラムなどの開催 第9回ひょうご県民がんフォーラム 日 時:2019年11月16日(土) テーマ:「動き出した がんゲノム医療」 担当施設:県立がんセンター、市立西脇病院、県立淡路医療センター ○ 協議会との共催に同意が得られた研究会、懇話会の開催及び後援名義の使用承認 (http://www.hyogo-ganshinryo.jp/index.htmlに掲載) 	2020年3月	○	概ね達成	<ul style="list-style-type: none"> 県民へのがん治療への理解を深めるため、令和元年度は「動き出したがんゲノム医療」をテーマに第1部「がんのゲノム医療」第2部「家族性腫瘍」に分けて講演を開催した。 地域で開催されるセミナーや研究会などの共催、及び後援などを行った。共催12件、後援15件 	継続	来年度も引き続いて第10回ひょうご県立がんフォーラムを開催し、県民へのがんに対する知識の啓発を目的に啓蒙活動を続けていく。 各研究会などとの連携を考慮し、引き続き共催、後援を行う。	

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

《2020年度 PDCA サイクル実施計画・管理表》

2020年4月1日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)
研 修 教 育 部 会	がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成	がん医療・看護の質向上をはかり、がんに関する知識が実践に繋がるような研修が必要である。	○県内医療機関に勤務するがん看護に携わる看護師を対象に、がん看護実務研修改め、「がん看護コアナース育成セミナー」を企画開催する（期間：7月6日～8月26日、フォローアップ：2月26日） ○ELNEC-Jは、10月26-27開催	2021年3月					
		医療関係者の育成については、セミナーの開催などにより継続的に行う必要がある。	○がん診療連携拠点病院を対象とする研修会の開催 ・第6回 兵庫県がん化学療法チーム医療研修会 日程、テーマ：未定 場所：兵庫県立がんセンター 大会 ○セミナーの開催 (1)放射線セミナー 2020年10月31日 県民会館「パルテール」 (2)研修・教育部会セミナー 2020年10月10日 県民会館「パルテール」 (3)検査セミナー (4)薬剤師セミナー	2021年3月					
		○ 県民フォーラムなどの開催 第10回ひょうご県民がんフォーラム 日 時：2020年10月24日（土） テーマ：「未定」 担当施設：関西労災病院	2020年11月						
		○ 協議会との共催に同意が得られた研究会、懇話会の開催及び後援名義の使用承認 (http://www.hyogo-ganshinryo.jp/index.html に掲載)	2021年3月						

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

兵庫県がん診療連携協議会「情報・連携」部会関連

項目	内容
2019年度 の活動報告	<p>1 活動報告</p> <p>1)がん相談実務者ミーティングを年4回開催する</p> <p>第5回会議 2019年6月12日(水) 13:00～16:00 場所: 県立がんセンター 2階 大会議室 【内容】就労関連合同会議、兵庫県社会保険労務士会、産業保健総合支援センター、ハローワーク</p> <p>第6回会議 2019年9月21日(土) 13:00～16:00 場所: 県立がんセンター 2階 大会議室 【内容】認定がん専門相談員単位認定研修『がんゲノム医療にがん相談はどう対応するか』 66名受講</p> <p>第7回会議 2019年12月21日(土) 14:00～16:15 場所: 県立がんセンター 2階 大会議室 【内容】ピアサポーター養成研修修了者との交流会</p> <p>第8回会議 2020年3月21日(土) 13:00～16:00 場所: 県立がんセンター 2階 大会議室 (中止) 【内容】各施設の質改善活動の評価</p> <p>2)事務局会議の開催</p> <p>第1回事務局会議 2019年6月12日(水) 16:00～17:00 場所: 県立がんセンター がん相談支援センター 【内容】今年度の計画確認等</p> <p>第2回事務局会議 2019年9月21日(土) 11:00～12:00 場所: 県立がんセンター 応接室 【内容】がんフォーラムの打ち合わせ等</p> <p>第3回事務局会議 2019年12月3日(火) 14:30～15:30 場所: 神戸大学医学部附属病院 研究棟A 6階 共通カンファレンス室 【内容】本年度の後期の事業確認、次年度の単位研修について等</p> <p>第4回事務局会議 2020年2月12日(水) 14:00～15:00 場所: 神戸大学医学部附属病院 研究棟A 6階 共通カンファレンス室 【内容】2019年度の事業評価と2020年度の事業計画について</p> <p>3)地域相談支援フォーラムin近畿の開催および開催準備</p> <p>2019年10月6日(日)開催 場所: 神戸市立医療センター中央市民病院 講堂 123名受講</p>
2020年度 の活動計画 及び今後の 検討課題等	<p>1 活動計画</p> <p>1)部会(がん相談実務者ミーティング)を年4回開催する</p> <p>【日程】 ①2020年7月16日午後、②9月12日、③12月19日午後、④3月13日午後</p> <p>【内容】 ①今年度の計画共有、現状と課題検討など、 ②認定がん専門相談員単位認定研修「相談対応の質保証(QA)を学ぶ」(仮) ③ピアサポーターとの交流会 ④各施設の質改善活動の評価</p> <p>2)事務局会議の開催</p> <p>第1回事務局会議 2020年7月16日(木) 15:45～16:45(WEB会議) 【内容】 第10回情報・連携部会開催の計画、調整など</p>

2019年度 部門年度目的（目標）の達成状況 及び 2020年度 部門年度目的（目標）の設定

No.	P (Plan)		D (do)	C (check)	A (act)	
	医療サービスの質に係る目的(目標)	目標を達成するための達成計画			達成状況	2020年度の目的（目標）
1	がん相談支援の質の向上、活用の促進に努める	<p>1) 各病院のがん相談支援センターの活動の自己評価を行う</p> <p>①2019年6月までに、各病院の相談支援部門の活動を国立がん研究センターが作成したチェックリストを用いてチェックし、問題点を明らかにする</p> <p>②上記は毎年3月に定期的に行うこととする</p> <p>2) 各病院の相談支援部門の活動についてその質の向上を図るために質の改善の努力を行う</p> <p>①目標管理の書式に則り、2019年6月までに医療サービスの質にかかる目標と、目標を達成するための実現可能な達成計画を立てる</p> <p>②年4回開催する情報・連携部会会議の際に、毎回15分の目標の進捗管理の時間をとる</p> <p>3) 各病院の相談員の能力の維持向上を図る</p> <p>①情報・連携部会会議を年4回開催し、研修会、事例検討、経験交流、患者会との交流などを行う</p> <p>・2019年度第1回会議 2019年6月中旬(平日)会場：兵庫県立がんセンター大会議室</p> <p>内容：兵庫県社会保険労務士会、産業保健総合支援センター、ハローワークとの合同ミーティング</p> <p>・2019年度第2回会議 2019年9月7日(土)会場：兵庫県立がんセンター大会議室</p> <p>内容：単位研修『ゲノム医療にがん相談はどう対応するか』</p> <p>・2019年度第3回会議 2019年12月21日(土)会場：兵庫県立がんセンター大会議室</p> <p>内容：ピアサポーターとの交流会</p>	<p>1)</p> <p>①2019年3月の情報・連携部会会議で、各施設でチェックリストの記入を行い、各病院の質の改善計画を目標管理の様式に基づいて立案した。</p> <p>②2019年度の年度末評価は、2020年3月に行う。</p> <p>2)</p> <p>①1)①に同じ。</p> <p>②情報・連携部会会議の議事予定に目標の進捗管理の時間を記載し、毎回15分の進捗管理を行った。</p> <p>3) 情報・連携部会会議を4回開催した。</p> <p>①</p> <p>・2019年度第1回会議 2019年6月12日(水)会場：兵庫県立がんセンター大会議室</p> <p>内容：兵庫県社会保険労務士会、産業保健総合支援センター、ハローワークとの合同ミーティング</p> <p>・2019年度第2回会議 2019年9月21日(土)会場：兵庫県立がんセンター大会議室</p> <p>内容：単位研修『ゲノム医療にがん相談はどう対応するか』</p> <p>・2019年度第3回会議 2019年12月21日(土)会場：兵庫県立がんセンター大会議室</p> <p>内容：ピアサポーターとの交流会</p> <p>・2019年度第4回会議 2020年3月21日(土)会場：兵庫県立がんセンター大会議室</p>	<p>■達成できた</p> <p>□一部達成できた</p> <p>□達成できなかった</p> <p>□その他</p> <p>()</p> <p>(達成できなかった理由等)</p>	がん相談支援の質の向上、活用の促進に努める	<p>1) 各病院のがん相談支援センターの活動の自己評価を行う</p> <p>①2020年6月までに、各病院の相談支援部門の活動を国立がん研究センターが作成したチェックリストを用いてチェックし、問題点を明らかにする</p> <p>②上記は毎年3月に定期的に行うこととする</p> <p>2) 各病院の相談支援部門の活動についてその質の向上を図るために質の改善の努力を行う</p> <p>①目標管理の書式に則り、2020年6月までに医療サービスの質にかかる目標と、目標を達成するための実現可能な達成計画を立てる</p> <p>②年4回開催する情報・連携部会会議の際に、毎回15分の目標の進捗管理の時間をとる</p> <p>3) 各病院の相談員の能力の維持向上を図る</p> <p>①情報・連携部会会議を年4回開催し、研修会、事例検討、経験交流、患者会との交流などを行う</p> <p>・2020年度第1回会議 2020年6月上旬(平日)会場：兵庫県立がんセンター大会議室</p> <p>内容：兵庫県社会保険労務士会、産業保健総合支援センター、ハローワークとの合同ミーティング</p> <p>・2020年度第2回会議 2020年9月12日(土)会場：兵庫県立がんセンター大会議室</p> <p>内容：単位研修『相談対応の質保証(QA:Quality Assurance)を学ぶ』</p> <p>・2020年度第3回会議 2020年12月19日(土)会場：兵庫県立がんセンター大会議室</p>
2	がん患者の就労支援を行う体制づくりをする	<p>1) 兵庫県社会保険労務士会、産業保健総合支援センター、ハローワークと拠点病院の連携事業について各拠点病院にインフォメーションを行う</p> <p>2) がん患者が就労を継続できるよう、産業保健総合支援センター、ハローワーク、産業医との協働を図る</p> <p>3) 離職を防ぐための患者への啓発資料を作成する。</p>	<p>1) 第1回会議で、兵庫県社会保険労務士会、兵庫産業保健総合支援センター、兵庫労働局、明石公共職業安定所、医療機関(神戸市立西神戸医療センター、神戸大学医学部附属病院)の活動紹介を行い、各地域ごとに交流を行った。</p> <p>2) 1)に同じ。第1回会議で意見交換会を開催した。</p> <p>3) 初診時の離職を防ぐための患者への啓発資料の作成を検討する。兵庫県医師会に、患者への啓発資料を作成・配布していないか確認を行ったが、特に行われていなかった。兵庫県下の相談支援センターで作成・配布している啓発資料の有無を確認した。</p>	<p>□達成できた</p> <p>■一部達成できた</p> <p>□達成できなかった</p> <p>□その他</p> <p>()</p> <p>(達成できなかった理由等)</p> <p>3) 今年度は既存の啓発資料の有無の確認を行った。既存の資料を元にして、兵庫県下で統一した資料作成を次年度行うこととする。</p>	がん患者の就労支援を行う体制づくりをする	<p>1) 兵庫県社会保険労務士会、産業保健総合支援センター、ハローワークと拠点病院の連携事業について各拠点病院にインフォメーションを行う</p> <p>2) がん患者が就労を継続できるよう、産業保健総合支援センター、ハローワーク、産業医との協働を図る</p> <p>3) 離職を防ぐための患者への啓発資料を作成する。</p>
3	がん患者のピアサポートの体制づくり、継続を支援する	<p>1) がん患者のピアサポートに取り組む人材を育成する</p> <p>①兵庫県主催のピアサポーター養成講座を開催する</p> <p>②ピアサポーター養成講座受講修了者の継続教育を目的として、フォローアップ研修会を実施する</p> <p>③国の標準プログラムに基づく研修を修了したピアサポーターによる相談支援を導入している施設を県内で3か所設ける</p> <p>④研修を修了したピアサポーターが充実した活動を行えるよう支援する。</p>	<p>1)</p> <p>①兵庫医科大学病院が担当病院となり、6月1日(土)・2日(日)の2日間開催し、17名の参加があった。</p> <p>②12月21日(土)午前、質の向上を目的として、フォローアップ研修会を開催した(内容：ロールプレイ、各ピアサポーターの活動状況共有)。</p> <p>③ピアサポーター養成研修を修了したピアサポーターが院内サロンに参加している病院は11施設(国拠点7施設、県拠点3施設、準拠点1施設)、ピアサポーターと契約を提携している施設は4施設(国拠点2施設、県拠点1施設、準拠点1施設)であった(2019年1月31日時点)。昨年と比較して、ピアサポーター参加施設及び契約施設が増加しており、ピアサポーターとの連携した活動が実施できていた。</p>	<p>■達成できた</p> <p>□一部達成できた</p> <p>□達成できなかった</p> <p>□その他</p> <p>()</p> <p>(達成できなかった理由等)</p>	がん患者のピアサポートの体制づくり、継続を支援する	<p>1) がん患者のピアサポートに取り組む人材を育成する</p> <p>①兵庫県主催のピアサポーター養成講座を開催する</p> <p>②ピアサポーター養成講座受講修了者の継続教育を目的として、フォローアップ研修会を実施する</p> <p>③国の標準プログラムに基づく研修を修了したピアサポーターによる相談支援を導入している施設を県内で3か所設ける</p> <p>④研修を修了したピアサポーターが充実した活動を行えるよう支援する。</p>
4	県内のがん相談支援の質の向上を推進する人材を育成する	<p>1) 国立がん研究センター認定のがん専門相談員の認定者を県内で4名育成する</p> <p>①情報・連携部会会議で、認定に必要な研修を年1回以上開催する</p> <p>②各国指定拠点病院に認定がん専門相談員の申請を積極的に行うように部会から働きかけを行う</p> <p>③国立がん研究センターがん対策情報センター主催のがん相談指導者研修に受講生を派遣する</p>	<p>1) 今年度新たに認定者が2名となった。</p> <p>①9月21日に、がんゲノム医療に関する相談支援をテーマに単位研修を開催した。</p> <p>②情報・連携部会会議の際に、働きかけを行った。</p> <p>③がん相談支援センター相談員指導者研修(前期・後期)に3名参加した。本年度指導者研修に参加した修了生は、次年度以降の単位研修の企画を担当することとする。兵庫県内の指導者研修修了者は9名となった(平成24年度3名、平成29年度3名、令和元年度3名)。本年度以降は研修会が毎年開催される予定となっているため、次年度以降も受講生を派遣できるよう検討する。</p>	<p>■達成できた</p> <p>□一部達成できた</p> <p>□達成できなかった</p> <p>□その他</p> <p>()</p> <p>(達成できなかった理由等)</p>	県内のがん相談支援の質の向上を推進する人材を育成する	<p>1)</p> <p>①情報・連携部会会議で、認定に必要な研修を年1回以上開催する</p> <p>②各国指定拠点病院に認定がん専門相談員の申請を積極的に行うように部会から働きかけを行う</p> <p>③国立がん研究センターがん対策情報センター主催のがん相談指導者研修に受講生を派遣する</p>
5	2019年度地域相談支援フォーラムin近畿を開催する	<p>1) 他府県の情報・連携部会と協働して、実行委員会を組織する。</p> <p>①準備状況の確認と当日の運営について検討する(2019年9月)。</p> <p>2) 兵庫県内の情報・連携部会で運営委員会を組織する。</p> <p>①情報・連携部会事務局会議で、2019年1月に行った実行委員会の内容を確認する。</p> <p>②グループワークの内容を検討する(2019年3月中)。</p> <p>③募集のフォーマットや手順を国立がん研究センターと相談する。</p> <p>④兵庫県内のがん相談実務者に準備状況を報告する。</p> <p>⑤兵庫県内の運営委員を募集する。</p> <p>⑥地域フォーラムの当日の運営を行う。</p>	<p>1)</p> <p>①2019年9月21日に事務局会議を開催し、準備状況の確認を行った。</p> <p>2)</p> <p>①2019年1月24日(木)に開催した近畿6府県のがん相談支援関連部会との実行委員会話し合った内容を、事務局内で共有し、3月の情報・連携部会会議で共有した。</p> <p>②2019年3月8日に、事務局病院で、グループワークの内容とパネルディスカッションの共通項目について検討し、6月に近畿6府県のがん相談支援関連部会に報告し検討した。</p> <p>③2019年7月に、募集のフォーマットや手順について、国立がん研究センターと相談し、8月よりがん情報サービス医療者向けサイトにて参加申し込みを開始した。</p> <p>④兵庫県内のがん相談実務者には、メーリングリストを活用し、アンケート収集や募集開始の案内などを適宜行った。</p> <p>⑤フォーラム申込者の中から、国指定拠点病院の相談員を中心に、フォーラム当日の運営委員への協力を依頼した。</p> <p>⑥地域フォーラムを開催し、123名の参加があった。アンケート結果より、フォーラムが今後活用できる内容だったと答えた参加者は96%であった。</p> <p>・日時：2019年10月6日(日)</p> <p>・フォーラムテーマ：「高齢がん患者の支援を考える」</p> <p>・主催：兵庫県がん診療連携協議会情報・連携部会、共催：近畿5府県のがん相談支援関連部会</p>	<p>■達成できた</p> <p>□一部達成できた</p> <p>□達成できなかった</p> <p>□その他</p> <p>()</p> <p>(達成できなかった理由等)</p>		

※作成上の注意

2019年度部門目的(目標)の達成状況については、「達成状況」欄の「達成された」、「一部達成された」、「達成できなかった」、「その他」のいずれかにチェックをしてください。「その他」に付した場合は、()内に達成状況を記載してください。

2020年度部門目的(目標)の設定については、従来どおり達成度の判定可能な目的(目標)を設定してください。(達成度の判定可能な目的(目標)であれば、必ずしも数値目標とする必要はありません。)

また、次の点にも留意してください。

- ・部門の努力によって達成可能な目的(目標)であること。
- ・目的(目標)設定の達成計画及び達成度を確認していく方法を検討し、該当欄に記載してください。

提出にあたっては、様式下部の「部門名」を記載し、「承認」、「確認」及び「作成」欄に該当者の印を押印、各押印の日付を記載の上、**原本**を提出してください。

※提出様式の電子ファイルはISO推進担当者まで送付しています。

「責任者承認」印については、責任者決裁の上、一括して承認印を捺印予定です。

作成：2019年3月8日
 確認：2020年2月12日
 承認：2020年2月21日
 責任者承認：2020年2月21日

部門名				
情報・連携部会				

兵庫県がん診療連携協議会「がん登録」部会関連

項 目	内 容
2019年度の活動報告	<p>○ がん診療連携協議会 がん登録部会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ とき・ところ: 6月28日・兵庫県学校厚生会館 ・ 議 事: がん登録実務者認定の変更等について 全国がん登録の情報還元に関する申請方法について ・ 報告事項: 平成31年度都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会の結果 地域がん登録の状況 院内がん登録実務者ミーティング(研修)の開催 全国がん登録実務者研修会の開催 ・ 参加者: 40病院 53人 <p>○ 院内がん登録実務者ミーティングの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回・院内がん登録実務者ミーティング(研修) とき・ところ: 9月11日・神戸市立医療センター中央市民病院 テーマ: 2019年からの変更点、多重癌ルールについて 講 師: 国立がん研究センター がん対策情報センター がん登録センター 江森 佳子 氏 参加者: 49病院 82人 ・ 第2回・院内がん登録実務者ミーティング とき・ところ: 2月14日・県立がんセンター テーマ: 2017年登録数と治療別集計と院内がん登録の統計活用事例 (公表案は「別表」参照) 院内がん登録に係る調査研究に関する全国がん登録情報の利用方法について 参加者: 38病院 49名 <p>○ 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 がん登録部会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ とき・ところ: 4月24日・国立がん研究センター 新研究棟セミナールーム ・ 報告事項: 全国がん登録の動向、院内がん登録全国集計報告書について 等 ・ 検討事項: 全国集計の今後の方針について、院内がん登録全国データ活用の在り方 <p>* 全国がん登録実務者研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ とき・ところ: 8月30日・神戸大学医学部会館シスメックスホール ・ テーマ: 全国がん登録の届出実務(初級編) ・ 講 師: 国立がん研究センター がん対策情報センター がん登録センター 全国がん登録分析室長 柴田亜希子氏 ・ 参加者: 128病院 175人
2020年度の活動計画 及び今後の検討課題等	<p>○ がん診療連携協議会 がん登録部会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月開催予定を下半期開催予定に変更 <p>○ 院内がん登録実務者ミーティングの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年1回開催予定(講義形式(9月))を中止し、院内がん登録数集計報告等(2月)を予定) <p>○ 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 がん登録部会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月22日開催予定を6月16日開催予定(WEB会議)に変更 <p>* 全国がん登録に関する研修会の開催(中止の見込み)</p>

《2019年度 PDCA サイクル実施計画・管理表》

2020年3月末 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)
が ん 登 録 部 会	がん診療情報を収集・分析する体制整備	拠点病院の指定要件として、院内がん登録のデータを活用し、登録数や各治療法についてのがん種別件数をホームページ等で情報公開するよう努めることとされている。 平成28年度より県がん診療連携協議会のホームページにおいて加盟病院別の件数・割合を掲載しており、2015年症例より、施設別の院内がん登録数及び胃、肺、大腸がんの治療法件数・割合を掲載しているが、より患者のニーズに対応した掲載内容とすることが必要である。	患者等に役立つデータの掲載に向け、情報の取り扱いに配慮しながら、県がん診療連携協議会がん登録部会及びその下部組織であるがん登録実務者ミーティング等で検討を重ねていく。 検討結果ついて、加盟病院に了解を得られたデータ等を協議会ホームページに掲載する。	2020年3月	○	達成	がん診療連携協議会のホームページに、がん登録部会の院内がん登録実施施設の2017年院内がん登録数と大腸・肺・胃がんの施設別治療法集計データを掲載した。 (この集計は、がん登録実務者ミーティングで検討を重ね、令和2年2月に開催された兵庫県がん診療連携協議会幹事会で公表を承認されたものである。)	継続	来年度もがん登録部会・実務者ミーティングで検討しながら2018年診断症例の情報収集に努め、兵庫県のがん診療や県民に役立つ情報提供を行っていく。
	がん登録実務の精度向上	平成28年1月にがん登録等の推進に関する法律が施行され、院内がん登録実務者のレベルアップが課題となっている。	年2回(9月、2月)、がん登録実務者ミーティングを開催(うち1回は講義形式)し、がん登録に係る知識向上、情報共有等を図る。 また、今後圏域毎にグループワーキング勉強会などができなにか検討していく。 各施設毎に国立がん研究センターが開催する初級者認定試験や初級者・中級者研修や更新試験、データ集計・分析研修に積極的に参加し技能を磨く。 (全国がん登録セミナーなど研修にも参加する。)	2020年3月	○	達成	第1回院内がん登録実務者ミーティング(研修)9月11日:神戸市立医療センター中央市民病院にて開催 テーマ:2019年からの変更点、多重癌ツールについて講師:国立がん研究センター/49病院 82名県内外実務者参加 第2回院内がん登録実務者ミーティング(統計・分析)2月14日:県立がんセンターにて開催 テーマ①「2017年院内がん登録数と大腸・肺・胃がんの施設別治療法集計データの公表案」の検討 テーマ②「全国がん登録の情報提供(病院等への予後情報還元申請)」に関する意見交換及びグループワーク/38病院 49名県内実務者参加	継続	年2回(9月、2月)、がん登録実務者ミーティングを開催(うち1回は講義形式)し、がん登録に係る知識向上、情報共有等を図る。 また、来年度は、各拠点病院等が、県への全国がん登録情報の予後情報還元申請が円滑に行えるような支援が必要である。

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

《2020年度 P D C A サイクル実施計画・管理表》

2020年4月1日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)
が ん 登 録 部 会	がん診療情報を収集・分析する体制整備	拠点病院の指定要件として、院内がん登録のデータを活用し、登録数や各治療法についてのがん種別件数をホームページ等で情報公開するよう努めることとされている。 平成28年度より県がん診療連携協議会のホームページにおいて加盟病院別の件数・割合を掲載しており、2015年症例より、施設別の院内がん登録数及び胃、肺、大腸がんの治療法件数・割合を掲載しているが、より患者のニーズに対応した掲載内容とすることが必要である。	患者等に役立つデータの掲載に向け、情報の取り扱いに配慮しながら、県がん診療連携協議会がん登録部会及びその下部組織であるがん登録実務者ミーティング等で検討を重ねいく。 検討結果ついて、加盟病院に了解を得られたデータ等を協議会ホームページに掲載する。	2021年3月					
	がん登録実務の精度向上	平成28年1月にがん登録等の推進に関する法律が施行され、院内がん登録実務者のレベルアップが課題となっている。	年2回(9月、2月)、がん登録実務者ミーティングを開催(うち1回は講義形式)し、がん登録に係る知識向上、情報共有等を図る。 各施設毎に国立がん研究センターが開催する初級者認定試験や初級者・中級者研修や更新試験、データ集計・分析研修に積極的に参加し技能を磨く。 (全国がん登録セミナーなど研修にも参加する。)	2021年3月					
	全国がん登録情報の予後情報還元申請	各拠点病院等は、県への情報還元申請に慣れていない。	各拠点病院等が円滑に県へ情報還元申請ができるよう、がん登録部会等で情報共有を図る。		2021年3月				

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

兵庫県がん診療連携協議会

兵庫県がん診療連携協議会「緩和ケア」部会関連

項目	内容
2019年度の活動報告	<ul style="list-style-type: none"> ○都道府県がん診療連携拠点連携病院連絡協議会 緩和ケア部会 (2019年12月6日) ○緩和ケア部会コアメンバー会議 (2019年5月8日、2020年3月23日：WEB開催) 池垣淳一、木澤義之、岡山幸子、西本哲郎、堀謙輔(関西労災)、 坂下明大(神戸大学)、濱中章洋(淡路医療)、伊藤由美子(がんセンター) ○緩和ケア研修会の開催 ○緩和ケア研修会指導者の会 (2020年1月25日) ○兵庫県緩和ケアチーム研修会 姫路医療センター担当 (2020年1月25日) (テーマ：「全人的緩和ケアを目指して」～地域と連携・協働する緩和ケア～) ○緩和ケアフォローアップ研修会の開催 (2020年2月29日の開催中止) (テーマ：コミュニケーション)
2020年度の活動計画及び今後の検討課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○都道府県がん診療連携拠点連携病院連絡協議会 緩和ケア部会 (未定) ○緩和ケア部会コアメンバー会議 (WEB開催予定) ○緩和ケア研修会の開催 令和2年6月にHP掲載予定 ○緩和ケア研修会指導者の会 (令和3年1月23日またはWEB会議開催検討中) ○兵庫県緩和ケアチーム研修会 関西労災病院 担当 (令和3年1月23日) ○緩和ケアフォローアップ研修会の開催 (未定) (テーマ：コミュニケーション)

《 2019年度 PDCA サイクル実施計画・管理表 》

2020年3月31日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)
緩和 ケア 部 会	緩和ケアの質の向上	緩和ケア研修会が1日開催となった。緩和ケア研修会の参加者が少ない。医師以外の参加者も少ない	1)各病院で緩和ケア研修会を実施する 計24回開催予定 2)年1回緩和ケア研修会指導者の会を開催する 3)緩和ケア研修会の修了者等を対象に緩和ケアフォローアップ研修会を開催する。内容としてはコミュニケーションに関するワークショップを予定している	2020年3月			1)新型コロナウイルス蔓延懸念のため、1研修会は開催できなかった。 2)年1回緩和ケア研修会指導者の会を開催する 3)緩和ケア研修会の修了者等を対象に緩和ケアフォローアップ研修会は新型コロナウイルスため中止		1)新型コロナウイルスため、開催方法を検討する。WEBによる開催も検討 2)指導者の会はWEB開催とする 3)フォローアップ研修会はコロナウイルスが鎮静化するまで延期
	緩和ケアチーム診療機能の向上	緩和ケアチーム研修会への参加できていない施設があり、ピアレビューが行えない。PDCAを公表しているが、すべての施設ではない。	緩和ケアチーム研修会を年1回開催、参加促進する。 年1回緩和ケアチームのピアレビューを実施し、チームの活動を振り返り、他のチームの活動から学ぶ機会をつくる PDCAを公表することの動機付けをより明確にする。作成を促す。	2020年3月			1)各病院の緩和ケアチーム・緩和ケア外来の活動についてその質の向上を図るために質の改善の努力を行う ①PDCAを公表している医療機関は〇〇 国拠点でも 〇〇/〇〇 ②年1回緩和ケアチームのピアレビューを実施し、チームの活動を振り返り、他のチームの活動から学ぶ機会をもうけたが質評価などアウトカムは明確でない 2)各病院の緩和ケアチームで働く専門職の能力の維持向上を図る ①緩和ケアチーム研修会を1月25日に姫路医療センター担当で開催した		新型コロナウイルスの蔓延状況に注視しながら、緩和ケアチーム研修会を開催する。 PDCAは全ての病院でできるよう促す。
	疼痛緩和等の実践	国拠点病院においては緩和ケアマニュアルを2年に1度改定することとなっている。一方マニュアルが十分に整備されていない病院もある。	いつでも、どこでも適切な疼痛をはじめとした体とこころの苦痛の緩和が実践できるような支援をする 各病院で苦痛緩和のための緩和ケアマニュアルを整備する	2020年3月			①各病院で苦痛緩和のための緩和ケアマニュアルを整備状況についてのアンケートを行った。マニュアルのない施設は2施設のみ。		マニュアルを他施設に教えてよいとした施設と知りたい施設についての情報を緩和ケア部会内で共有する
	県内の緩和ケアチームの連携を深める	緩和ケア部会活動の企画立案組織が脆弱である。	緩和ケア部会とコアメンバー会議を開催する ①緩和ケア部会をWeb上で随時開催する ②緩和ケア部会ならびにその活動を円滑に推進するために緩和ケア部会コアメンバー会議を年2回実施する	2020年3月			①緩和ケア部会の会議としてはWeb上で開催しなかった。ML上での承認作業は行なった。 ②緩和ケア部会コアメンバー会議を年1回web上で行なった。		新型コロナウイルスの蔓延もあり、web会議で対応する。ノウハウを蓄積する。新たにコアメンバーを募集する。

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

《 2020年度 P D C A サイクル実施計画・管理表 》

2020年 4月 1日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)
緩 和 ケ ア 部 会	緩和ケアの質の向上	新型コロナウイルスの影響で拠点病院の指定要件である緩和ケア研修会の開催が危ぶまれる	対面による研修会は行わない。 WEBによる集合研修を開発し、WEB開催可能な施設では行う。 指導者の会はWEB会議とする。						
	緩和ケアチーム診療機能の向上	新型コロナウイルスの影響で緩和ケアチーム研修会の開催が危ぶまれる。 緩和ケアチームの評価指標がない。	対面による緩和ケアチーム研修会を可能なら開催。 その場において緩和ケアチームの評価方法について検討する。						
	疼痛緩和等の実践	国拠点病院においては緩和ケアマニュアルを2年に1度改定することとなっている。一方マニュアルが十分に整備されていない病院もある。	他病院の緩和ケアマニュアルについての情報交換を行う。 開示してよい施設、知りたい施設間での情報交換を促す。						
	県内の緩和ケアチームの連携を深める	緩和ケア部会活動の企画立案組織が脆弱である。 対面による会議が困難となっている。	WEB会議を行う。昨年度の経験を踏まえ、今後のWEB開催のノウハウを確立する。						

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

令和1年度 緩和ケア部会コアメンバー会議議事録

参加者：池垣 木澤 坂下 西本 堀 濱中 福永智栄 伊藤 岡山

1. 日時 令和2年3月23日(火) 19:00~20:00

2. 場所 ZOOM web会議

3. 議事

(ア) 開会にあたって

(イ) 自己紹介福永智：今回から参加します。よろしくお願いします。

(ウ) 報告事項

① 緩和ケアチーム研修会

1. 姫路医療センター 80名参加

2. 課題

- ・質問時間が全くなく、受講側は不全感が残る
- ・講師が懇親会にも参加がなく講師と話す時間が全くなかった
- ・PDCAの部分について内容の検討が必要である

② 緩和ケア研修会指導者の会について

議事録あり 資料2参照

③ 緩和ケアフォローアップ研修会

COVID19により中止となった

④ 課題1 マニュアルアンケート結果 資料3

他施設に教えてもよい施設、参考にしたい施設もあり、今後調整

⑤ 課題2

1. 緩和ケア病棟の面談等に関する情報の共有

日本ホスピス緩和ケア協会のアンケートあるが、目的が違うので公開できない。

⇒意見

1. こうした情報は透明性が必要なので、はっきり出した方がよい

2. 今後はWEB面談も検討

家族面談はzoomを使えばよい。マリア病院の家族面談で実証検討はじまった。保険診療でない可能性があるが今後すべきことである。

(エ) 協議事項

① 緩和ケアチーム研修会 関西労災担当

1. 日時：2021年1月23日

2. 場所：関西労災病院がんセンター＋大会議室＋付属看護専門学校
3. 担当：堀 池垣。他は堀先生が指名
4. テーマは緩和ケアチームの質の評価について、グループワーク中心に
→意見

チーム評価は PRO が必要

IPOS を導入したらナースが良くなった（福永）

② PDCA

各病院の PDCA は 4 月下旬 締め切り、がんセンター緩和ケアセンターへ送付。ゴールドデンウィーク明けに掲載予定

国がんの PDCA フォーラムに参加したが、困っている事は何かを検討し、その P に 8 割のエネルギーを注ぐのがよいとしていた。今後検討が必要

③ 指導者の会（ 坂下、もしくは福永 ）

1. 今後 ZOOM でも良いのではないか。今年は年 1 回以上しなくてはならない課題がある。
2. 今回、緩和医療学会代議員会議も ZOOM で開催予定

④ フォローアップ研修会 資料

SICP で再度調整

日時 場所 : 木澤先生、坂下先生に委ねる

⑤ COVID19 蔓延による緩和ケア研修会の対応について

資料 山本先生メールより抜粋 2020 年度予定表 資料 4

1. 現場の意見を国にあげる。
 - ・厚労省の担当者に問題点は伝えている→動きが見られない
 - ・今年は開催しなくても、拠点病院としては罰せられないようにする
すでに豊岡は 3 月に開催できなかった。
 - ・WEB で成り立たせることができれば OK とかの確約をもらわないといけない
 - ・Web 上でグループは分けられるので、可能かもしれない
2. 兵庫県での対応（案）
 - (ア) 新型コロナウイルス蔓延予防の見地から、対面による集合研修会は行わない。
 - (イ) WEB 開催の検討が必要。

(ウ) 原則 6 月までは行なわない。

(エ) それ以降も中止がありうることを前提に開催予定は HP に掲載

(オ) 最終的にできなかった場合は理由書を提出する事を検討

質問：参加しないといけないと考えている人が殺到するのではないか。

回答：緩和ケア部会として、感染拡大させないために中止の案を出す。

どうしても開催が必要ならば Web 開催を検討する。

PEACE 研修会指導者のみなさま

委託事業委員会緩和ケア研修会 WPG (PEACE 事務局) より、厚労省に当面の緩和ケア研修会開催に関する確認を行い、回答をいただきましたので、皆さんにご報告いたします。以下が厚労省からの回答の要約です。

1) 研修会開催の是非について

研修会開催にあたっては、イベントの開催に関する国民のみなさまへのメッセージ (https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/newpage_00002.html <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/newpage_00002.html>) 等の厚労省からの代表的なコメントに従って判断ください。中止・延期をお願いしているわけではなく、実際に主催者の判断で開催している研修会もあります。

現時点ではいつまで集合研修に影響するかは予見できないため、研修会を延期する場合には年内 12 月までに再度開催を検討していただくことをお願いしています。もちろん困難な場合は再度検討させていただきます。

なお、開催を予定していた研修会を中止をする場合には、都道府県に中止のメールを送るようにしてください。

2) がん診療連携拠点病院の指定要件 (緩和ケア研修会の年 1 回以上の開催義務) について

指定要件の変更 (経過措置を含む) については、「がん診療連携拠点病院等の指定に関する検討会」により決定されるため、構成員の合意が必要であり、厚労省として独自に決定することはできません。少なくとも現時点では、経過措置を含めた指定要件の変更処置 (令和 2 年度に関しては、開催義務を撤廃するなど) は検討されていません。

3) 研修会開催についてや拠点病院の指定要件等の問い合わせ先について

緩和ケア研修会の開催や拠点病院の要件についての問い合わせは、都道府県を通して厚労省に直接問い合わせください。これにより厚労省がん疾病対策課でも、課題認識と整理を行うことができます。

個人的には、集合研修での事例検討やロールプレイは、①多くの人が密集した場所で、②近距離での会話が行われることが想定されるため、③換気の悪い密閉空間で研修会が開催されれば集団感染が起こるリスクは高いように思われます。

さらに春から夏にかけての研修会が軒並み延期され、秋以降に集中的に開催されることになると、研修会運営スタッフを確保することが難しくなる可能性があります。(多くの場合、同じ都道府県内の医療機関のスタッフが協力をして研修会を開催していますが、同じ日に開催となるとそうはいきません)

このような点から、令和 2 年度において、特例を検討する必要があるとは思われますが、現時点では厚労省としてはそのような考えをもち動いているわけではないようです。

現実的な対応案としては、

- ①がん拠点病院の指定要件の中から緩和ケア研修会開催を一定期間外す
- ②e-Learning の修了証書を持って、暫定的に緩和ケア研修会を修了したとみなし、施設における研修会修了者の割合を計算する
- ③集合研修が開催できるようになれば、e-Learning のみ修了した受講者は集合研修を受講する。これを許可するため、e-Learning の修了証書の2年間の有効期限を暫定的になくす。

とするのが良いのではないかと個人的には考えています。

多くの意見が都道府県を通して厚労省に届けられると、対策を講じていただけるかもしれませんが。

PEACE 事務局からも引き続き状況の報告と今後についての提言を行なっていきたいと思いますが、みなさまの方からも現場の声を都道府県を通じて是非国の方に届けていただければと思います。

山本 亮 Ryo Yamamoto

佐久総合病院佐久医療センター 緩和ケア内科 部長

兵庫県がん診療連携協議会「地域連携」部会関連

項目	内容
2019年度の活動報告	<ul style="list-style-type: none">○ がんパスの使用状況につき検討した。○ 大腸癌ESDパスを実際に運用した。○ がん地域連携に関する問題点を抽出した。既存の連携ノートの内容につき検討した。
2020年度の活動計画 及び今後の検討課題等	<ul style="list-style-type: none">○ がんパスの各施設での導入・使用状況を各部会ごとに検討する。○ 新規パス(大腸がんESDパス)とともに既存のパスの運用上の問題点を抽出する。○ がん地域連携に関する問題点を引き続き抽出する。

《2019年度 PDCA サイクル実施計画・管理表》

2020年3月末現在

部会名	P 実施計画				実施管理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)
地域連携部会	バス利用率の向上	バス利用率は、いまだ高くなく、全てのがん拠点病院での利用が見込まれる。	(1) 平成30年度のバス運用状況を調査する。 (2) すべての拠点病院で使用し、使用割合を増加する。 (3) 各部会ごとに問題点や課題を明らかにし、取組について検討する。	2020年3月	△	未達成	バスの運用状況を調査した。必ずしもバス運用は増加していない 5年目の対応は疾患や施設の状況に依存している。	継続	地域連携バスの利用の利点を再度理解いただく。 バス運用向上の工夫を検討する。
	大腸がんESDバスの実施	新規バスである大腸がんESDバスの実施が始まる。運用上の問題点を明らかにする。	(1) 大腸がんESD地域連携バスの実施状況を確認する。 (2) 問題点を明らかにする。	2020年3月	○	概ね達成	大腸がんESDバスに関しては大きな問題点は上がっていない。	継続	引き続き大腸がんESDバスの実施と問題点の抽出を行う
	がん地域連携の問題点の抽出と検討	がん地域連携につき、問題点が共有されていない。	(1) がん地域連携バス5年目の対応につき、アンケート調査をする。 (2) アンケート結果に基づき、課題を検討する。 (3) 各がん領域で、課題を検討する。	2020年3月	△	未達成	がん地域連携バス5年目の対応は施設や臓器で様々であった。	継続	がん地域連携バス5年目対応に問題点がないか検証する。 がんゲノム医療の情報の均霏化など新規情報の共有方法に

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

《2020年度 P D C A サイクル実施計画・管理表》

2020年 4月 1日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)
地 域 連 携 部 会	バス利用率向上	バスの利用率は必ずしも高くなく、すべてのがん拠点病院での利用が見込まれる。	(1) 2019年度のバス利用状況を調査する。 (2) すべての拠点病院で使用し、使用割合を増加する (3) 各部会ごとに問題点や課題を明らかにし、取り組みについて検討する。	2021年3月					
	バスの運用上の問題点の検討	新規バスの大腸がんESDバスや、すでに使用しているバスの運用上の問題点は必ずしも明らかになっていない。	(1) 新規バスの実施状況と問題点の確認する。 (2) 既存バスの問題点を明らかにし、改善につき検討する。	2021年3月					
	がん地域連携の問題点の抽出と検討	がん地域連携の問題点が共有されていない	(1) がん地域連携バス5年目の対応につき各部会で検討する。 (2) がんゲノム医療など新規がん医療に対する情報連携を検討する。	2021年3月					

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。

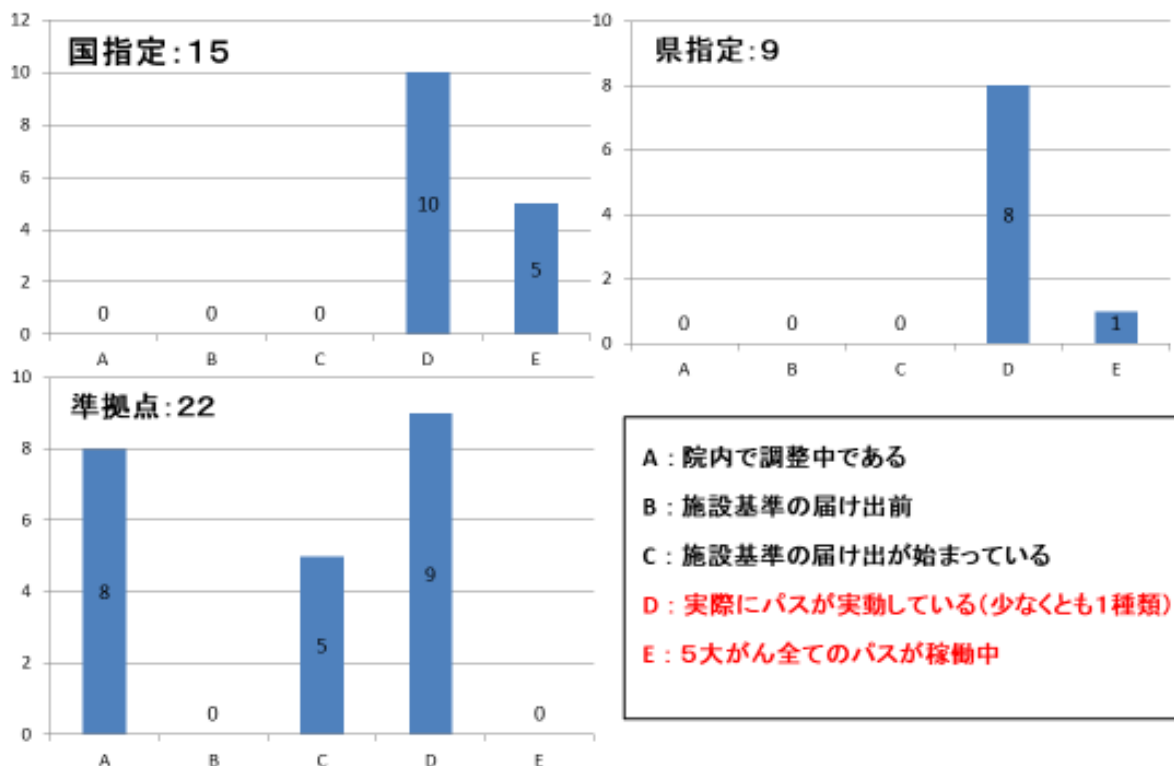
がんの地域連携パスについて 報告

- ・2020年3月末時点におけるがん拠点病院等47施設にアンケート調査を行った。
- ・国指定；15施設中5施設で5大がん全てのパスが稼働中。他の10施設は少なくとも1種類のパスが実際に稼働している。
- ・県指定；9施設中1施設で5大がん全てのパスが稼働中。他の8施設は少なくとも1種類のパスが実際に稼働している。
- ・準拠点；22施設中5大がん全てのパスが稼働中の施設はなし。9施設では少なくとも1種類のパスが実際に稼働している。
他は、院内で調整中であるのが8施設、施設基準の届出がはじまっているのが5施設である。
- ・承認病院；1施設。院内で調整中である。
- ・2019年度の登録件数は1,336件となり、2020年3月末時点で、累計8,758件のパスが運用中。
その内訳は、乳がん3,205件(36.6%)、胃がん2,098件(23.9%)、大腸がん1,505件(17.2%)、肺がん1,035件(11.8%)、肝がん179件(2.1%)、前立腺がん732件(8.4%)、子宮体がん4件(0.1%)。
- ・パス脱落症例は、累計688件(2019年度144件)。大きなバリエーション発生症例は、累計19件(2019年度0件)であった。
- ・兵庫県統一でないパスの運用を導入しているのは、2施設であった。

アンケート実施：2020年3月31日現在

がん診療連携パスの進捗状況

➤ 1. 連携システムの構築・パス進捗状況について



がん診療連携パスの進捗状況

計 8,758

➤ 2-1. パス稼働について (5大がん)

	合計	肺がん	胃がん	大腸がん	肝がん	乳がん
	8022	1035	2098	1505	179	3205
(前年比)	+1298	+114	+263	+177	+82	+662
県立がんセンター	1853	323	426	427	31	646
兵庫医科大学病院	746	133	158	40	17	398
神戸市立医療センター中央市民病院	652	20	117	23	0	492
関西労災病院	601	5	302	36	0	258
姫路赤十字病院	601	25	150	176	17	233
近畿中央病院	594	2	107	60	0	425
県立淡路医療センター	473	240	120	92	20	1
県立尼崎総合医療センター	471	163	42	0	75	191
市立伊丹病院	272	49	66	86	0	71
宝塚市立病院	242	6	95	141	0	0
他37施設 (国7、県8、準21、承1)	1517	69	515	424	19	490

➤ 2-2. パス稼働について (子宮体がん, 前立腺がん)

- ・ 子宮体がん； 4 (前年比±0)
- ・ 前立腺がん； 732 (前年比+28)

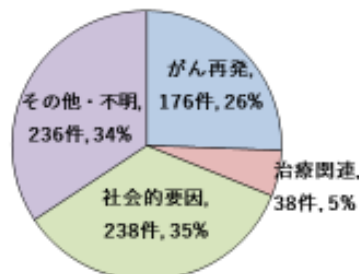
がん診療連携パスの進捗状況

➤ 3. パス脱落症例について

	合計	肺がん	胃がん	大腸がん	肝がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
登録件数	8758	1035	2098	1505	179	3205	4	732
脱落件数	688	183	185	129	28	74	0	89
(前年比)	+144	+30	+28	+28	+3	+24	±0	+31
脱落割合	7.9%	17.7%	8.8%	8.6%	15.6%	2.3%	0.0%	12.2%

脱落の原因,
件数(累計), 割合

がん再発	34件
治療関連	9件
社会的要因	51件
その他・不明	50件
合計	144件



バリエーション内容・脱落事例

- ・ 永眠
- ・ 担当医の判断
- ・ 導入せず
- ・ 連携先が閉院
- ・ 他疾患による入院や死亡
- ・ 高齢・認知症などにより、通院や検査が困難
- ・ 退院後30日以内に病理結果が出ないことが多く、見込みでパスを開始するため、病理結果によっては中止になる場合がある。

➤ 4. バリエーション発生症例について (2019年度 発生0件)

	合計	肺がん	胃がん	大腸がん	肝がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
登録件数	8758	1035	2098	1505	179	3205	4	732
発生件数	19	5	8	3	3	0	0	0
発生割合	0.2%	0.5%	0.4%	0.2%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%

(フリーワード回答)

5. パス普及のシステム上の問題点・課題点（脱落・バリエーション以外で、連携開始後困ったことが発生していましたら、ご記載ください。）

- ◆ 連携医療機関を開拓しようとするが、連携医療機関によっては患者に負担がかかる(お金がかかる)ことはしたくないなどのご意見もいただいている。がん地域連携パスの運用は基本的にこれまでと同様の病診連携と考えているが、医療機関によってはがん地域連携パスの趣旨に賛同いただけないこともある。
- ◆ 連携医療機関との患者情報の相互共有が連携ノートを用いた方法となっており、他院受診時の詳細な受診結果が電子カルテに保存されない。(地域連携パス経過報告書は取り込みされているが、詳細な観察項目は含まれていない)

6. パス稼働の際の新たな提案、提言（普及のためのご意見）

- ◆ パスについての手続きや運用に関して、医療機関、患者がともに負担にならない体制づくりが必要だと考える。
- ◆ 今後も、随時地域の医療機関へ地域連携パスの運用等について、周知を行っていききたい。

7. 「がん治療連携計画策定料」や「がん治療連携指導料」等に関し、以下のチェックを行い、ご意見をお願いします。

A 貴院の「がん治療連携計画策定料」の算定は、どのような状況ですか。

策定料が上手く算定できていない場合には、どのような対策をしていますか。

- ◆ 対象患者は拾い上げができていますが、患者の都合もあり運用開始に至らないため策定料が取れていないので、パスの説明時に患者のメリットを詳しく説明するようにしている。
- ◆ 乳がんパスについては、概ね算定できている。その他のパスについては、退院時から連携に至るまでに30日を超える事が多く算定できないことがある。
- ◆ 現在、院内で協議している。

B 「がん治療連携指導料」の算定について、連携医の状況をご存知でしたら教えてください。

指導料が上手く算定できていない場合には、どのように対策を連携医の先生に説明していますか。

- ◆ 現在、院内で協議している。

C 平成 24 年 4 月以降診療報酬算定の施設基準の申請は、拠点病院（準じる病院も含む）の役割となっていますが、申請は順調に進んでいますか。申請が滞っている原因についてはどう思われますか。

(回答なし)

D パス適応患者があった場合、連携医療機関(かかりつけ医)への診療情報の連絡は順調にいつていますか。連絡作業のうまくいっている病院については、どのような工夫をされていますか。

- ◆ 電子カルテ上で対象患者であることを重要コメントとして共有している。
- ◆ 地域連携パスを使用している医療機関については、診療部長に同行して地域医療連携室職員が訪問し、問題になっていること等を確認している。
- ◆ 対象患者に主治医から地域連携パスの説明をする前に、あらかじめ地域医療室から連携医へ事前に打診を行い、がん地域連携パスの対象となる可能性があることを説明し、了承を得てから主治医より患者へがん地域連携パスの説明を行っている。

- ◆ 退院後のフォローが出来る医療機関は限られるが、対応できる施設に関しては診療情報提供を行っている。
- ◆ 地域連携パスの導入時は地域医療連携部が担っており、診療情報提供書の記載確認と連携医療機関への連絡をもれなく行うようにしている。パス継続患者が各病院受診時には必ず連携ノートを持参するように患者へ協力依頼し、がんセンター受診時の診察項目を連携先医療機関に確認していただくようにしている。
- ◆ パス運用院内システムは構築され、活用されている。

8. 平成 31 年 4 月から令和 2 年 3 月末までの期間で、地域の医師会との協議や説明会を実施された状況をお聞かせ下さい。

A 地域の医師会との協議について

協議の中で出された問題点等ありましたらお書き下さい。

- ◆ 個別に対応しているため、別段の協議は実施予定なし。

B 地域の医師会への説明会について

説明会で特筆するご意見等ありましたらお書き下さい。

- ◆ 泌尿器科オープンカンファレンスにて、前立せんがんパスの再開と広報を行った。
- ◆ 地域の連携医療機関は、ほとんど登録していただいている。新たに今年度、未登録の医療機関の 2 診療所には患者のかかりつけ医であったため、登録いただいた。
- ◆ 医師会等への説明会は実施していないが、当院で開催している「地域医療連携会議」で地域連携パスについての質問に答える等、理解を求め、周知を行っている。
- ◆ 個別に対応しているため、別段の協議は実施予定なし。

9. 連携先の診療所、医療機関からのご意見などがありましたらお書きください。

- ◆ 電子化して欲しい
- ◆ 部位別で異なる仕様を統一して欲しい。
- ◆ 殆どかかりつけ医に行かない場合は面倒である。
- ◆ 地域の登録医療機関に関する状況の更新などはされないでしょうか？
- ◆ 健康管理のためノートを活用している。
- ◆ 登録して 3 年半になるが、利用患者実績が 1 名であり、またパス診療にあたる医師確保が困難という理由で 2020 年 3 月末で登録取り消しの市外の病院が 1 件あった。
- ◆ COVID-19 対策のために「定期受診を延期したい」との申し出が患者からあったが、どのように対応したらよいか？との問い合わせがあった。
- ◆ 連携先の医療機関から「腫瘍マーカーの値から受診を早める必要があるか？」との問い合わせがあった。
- ◆ 地域連携パスに関する書類の記入例やコスト算定の仕方などを明記した用紙を送付して頂いているが、「紙カルテから電子カルテに移行し、紙文書が多くカルテ保管が大変。必要書類をシンプルに変更や、電子化できるならしてほしい。」とのご意見があった。

10. 患者さんからのご意見

- ◆ 2つの病院に受診するのがややこしい。
- ◆ 地域連携パスの適応になるがんのステージが低いので、病院だけで十分な治療が受けられるのに、定期的にかかりつけ医にかかるのが面倒。

11. その他 がんの地域連携パスの現状について、全体を通してご意見をお願いします。

(うまくいっている理由や、うまくいかない理由、改善策など)

- ◆ 医療機関向けの広報誌でパスへの参加施設を募っている。
- ◆ 各診療科部長に同行して、各診療所を訪問するときに連携についての問題を提起している。
- ◆ 乳腺外科の医師が積極的に地域連携パスを利用し、地域との連携が進んだ。
- ◆ 電子カルテの氏名の横にマークを付け、職員がカルテを開いたときに、パスで地域医療機関と連携している患者であることが分かるようにしている。
- ◆ 患者さんがパスノートを持参していない事が多いので声かけの徹底や、地域の医療機関を滞っている場合は、外来受診時に患者さんに地域の医療機関の受診状況や今後の意向を尋ねるようにしている。
- ◆ 基本的には開業医の泌尿器科の Dr との連携パスを施行している。そのため、再発時や PSA 上昇時にスムーズに再紹介していただき、すぐに治療に取りかかることができ、患者の QOL の向上や当院でのスムーズな治療に寄与していると思われる。
- ◆ 主に消化器外科において医師からの依頼で退院調整看護師および地域医療室スタッフが導入に携わっている。退院後の初回外来で主に外来看護師が患者さんに再度説明を行い、本導入するケースが多い。
- ◆ かかりつけ医から診療経過報告書が送付されないなど連携が滞っている事例に対して、当院では定期的な調査を行っているので、比較的スムーズに連携パスが運用されていると思う。
 - ①かかりつけ医に患者さんが受診しているかを確認する。
 - ➡受診している場合は、診療経過報告書を送付いただくようお願いする。
 - ➡受診していない場合は、患者さんに確認。
 - ②患者さんにかかりつけ医へ受診できない理由を確認する。
 - ➡解決できる場合は、連携パスについて再度説明すると共に継続を促す。
 - ➡解決できない場合は、連携パスは中止し、当院またはかかりつけ医で通常のフォローに移行する。
- ◆ 対象者がいても手術を受けた病院でフォローを希望される患者さんが多い。
- ◆ 当院で継続治療、経過観察外来通院、施設入所患者で該当しない患者が多い、医師の交代など周知できないことが、パス件数が増えない原因。
- ◆ 院内でがん地域連携パスの存在が知られていないところがあり、他病院と比較しても件数が少ない。また院外においても連携保険医療機関の数を増やすために、院内外で広報をする必要がある。
- ◆ 消化器系の癌は相変わらず低調であり、今後増加するように医師に働きかけたい。また、R2年度は前立腺癌についても、積極的に推進したい。
- ◆ 5 大がんパスすべてにおいて稼働はしているが、現在患者へ適応できているパスは胃がん・大腸がんのみとなっている為、今後他の地域連携パスについても、啓蒙や見直しが必要である。
- ◆ 積極的な広報を行い、新たな連携登録医療機関を増やしたいと考えています。また、院内においても関係する医師等にパスの運用について働きかけていきたいと考えています。
- ◆ 拠点病院と実際に連携している医療機関に同様のアンケートを行いご意見を聞くことで、今後の地域連携パス推進や運用に活かせるのではないかと考える。
- ◆ ここ数年がんパスの稼働が皆無であったが、県統一の前立腺がんパスを 2020 年 2 月に構築することが出来たことは一歩前進であった。2020年度は絶やすことなく、粘り強くパス継続に向け取り組んでいきたい。医師会等の連携の働きかけが今後の課題となる。
- ◆ 今後地域連携パスを取り組んでいく必要があると考えており、今年度中に活動開始予定です。

連携医療機関リスト集計

(2020年3月31日現在)

* 地域別集計

(件)

地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
神戸	866	684	649	484	456	437	36	114
阪神南	3170	1542	1498	1428	1328	1195	412	559
阪神北	1562	815	798	757	719	617	119	204
東播磨	392	309	303	282	279	246	23	106
北播磨	188	158	155	147	146	102	9	14
中播磨	521	473	469	459	435	271	32	10
西播磨	68	66	64	62	58	51	5	7
但馬	96	90	88	77	68	51	2	8
丹波	46	38	34	8	9	7	4	8
淡路	123	111	107	105	107	92	4	65
県外	74	37	35	29	31	28	12	13
計	7,106	4,323	4,200	3,838	3,636	3,097	658	1,108

* 各病院詳細

(件)

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
近畿中央病院	芦屋市	8	7	7	7	6	6	4	4
	伊丹市	50	43	41	31	28	19	2	11
	三田市	17	16	16	16	14	14	2	4
	神戸市	1	1	1	1	1	1	1	1
	西宮市	78	72	71	69	60	58	23	28
	川西市	13	12	12	12	11	10	3	5
	姫路市	1	1	1	1	1	1	0	0
	尼崎市	118	110	106	91	85	64	17	35
	宝塚市	27	23	23	22	23	17	3	6
	川辺郡	2	2	2	2	1	1	0	0
	県外	1	1	0	0	0	0	0	0
合計	11	316	288	280	252	230	191	55	94

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
関西労災病院	尼崎市	120	111	95	88	83	68	15	30
	西宮市	96	86	84	83	75	74	33	42
	芦屋市	12	10	10	10	9	9	5	5
	宝塚市	33	29	24	22	22	17	3	7
	伊丹市	32	29	26	26	24	18	4	1
	川西市	15	14	14	14	12	11	3	5
	三田市	17	16	16	16	14	14	2	4
	神戸市	3	3	1	1	1	3	1	1
	姫路市	2	2	2	2	2	2	0	0
	大阪市	3	3	3	3	3	2	2	2
合計	10	333	303	275	265	245	218	68	97

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
神戸大学医学部 附属病院	神戸市	111	108	107	96	84	78		
	姫路市	11	9	9	9	9	9		
	西宮市	1	0	0	0	0	1		
	芦屋市	2	1	1	1	1	2		
	伊丹市	1	1	1	1	1	1		
	明石市	2	2	2	2	2	2		
	西脇市	1	1	1	1	1	1		
	加東市	1	1	1	1	0	0		
	相生市	1	1	1	1	1	1		
	佐用町	1	1	1	0	0	0		
	三田市	3	3	3	3	2	3		
	三木市	4	4	4	3	4	2		
	宍粟市	1	1	1	1	1	1		
	淡路市	1	1	1	1	1	1		
合計	14	141	134	133	120	107	102	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
神戸市立医療センター 中央市民病院	神戸市	169	131	100	85	80	82		22
	淡路市	4	3	3	2	3	2		1
	姫路市	8	7	7	7	7	6		
	芦屋市	5	4	3	3	2	3		1
	三田市	4	3	2	2	2	1		1
	西宮市	12	3	3	3	3	4		7
	加東市	2	1	1	1				1
	明石市	9	4	1	1	1	2		3
尼崎市	2	1						1	

連携医療機関リスト集計

(2020年3月31日現在)

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
神戸市立医療センター 中央市民病院	宝塚市	3					1		2
	豊岡市	1				1			
	伊丹市	1							1
	川西市	3							2
	丹波市	4	2	2	2	2	2		1
	加西市	1							1
	佐用町	1							1
	赤穂郡	1	1	1	1	1	1		
	洲本市	1	1	1	1	1	1		
	三木市	2	1	1	1	1	1		
	加古川市	1							
	揖保郡	1							
	篠山市	1							
	南あわじ市	1						1	
県外	9	8	7	7	8	6			
合計	25	246	170	132	116	112	113	0	45

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
姫路赤十字病院	姫路市	108	106	105	103	97	61	13	
	たつの市	4	4	4	3	3	2		
	宍粟市	7	7	7	7	7	7		
	佐用町	5	5	5	5	5	5		
	相生市	2	2	2	2	2	1		
	加古川市	1	0	0	0	0	1		
合計	6	127	124	123	120	114	77	13	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
姫路医療センター	城南	4	3	3	3	3	2		
	城巽	5	5	5	5	5	4		
	東光	11	10	10	10	9	6		
	野里	5	5	5	5	4	1		
	城北	7	6	6	6	7	4		
	城西	7	7	7	7	6	4		
	高岡	9	9	9	9	8	7		
	安室	11	10	11	10	10	4		
	飾磨東	7	7	7	6	6	5		
	飾磨中	11	11	11	10	8	5		
	山陽	9	8	7	9	8	4		
	飾磨西	4	4	4	4	4	4		
	広畑	6	6	6	6	5	5		
	網干	3	2	2	3	3			
合計	14	99	93	93	93	86	55	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
赤穂市民病院	赤穂市	9	9	8	8	6	5		
	相生市	4	4	3	3	2	3		
	上郡町	8	8	8	8	8	8		
	たつの市	3	3	3	3	3	2		
	佐用町	2	2	2	2	2	2		
	宍粟市	5	5	5	5	5	3		
	姫路市	5	5	5	5	5	4		
合計	7	36	36	34	34	31	27	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
兵庫県立 淡路医療センター	洲本市	23	23	23	21	22	20		14
	淡路市	22	22	21	22	22	20		19
	南あわじ市	25	25	23	25	25	23		16
合計	3	70	70	67	68	69	63	0	49

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
公立豊岡病院組合立 豊岡病院	豊岡市	36	35	35	32	31	24		
	養父市	10	10	10	10	7	6		
	朝来市	5	5	4	2	1	3		
	香美町	1	1	1	1	1	1		
	県外	5	5	4	4	4	3		
合計	5	57	56	54	49	44	37	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
兵庫医科大学病院	西宮市	529	102	98	93	82	73	34	47
	芦屋市	68	13	13	12	9	9	6	6
	宝塚市	124	26	24	23	24	17	4	6
	三田市	82	16	16	16	14	14	2	4
	尼崎市	467	95	94	87	87	61	15	28
	川西市	70	13	13	13	12	11	3	5
	伊丹市	143	30	30	29	27	19	2	6

連携医療機関リスト集計

(2020年3月31日現在)

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
兵庫医科大学病院	川辺郡	15	3	3	3	2	2	1	1
	神戸市	2	0	0	0	1	0	1	0
	明石市	3	1	1	1	0	0	0	0
	加東市	3	1	1	1	0	0	0	0
	美方郡	2	1	1	0	0	0	0	0
	南あわじ市	1	0	0	0	0	1	0	0
	淡路市	5	1	1	1	1	1	0	0
	県外	33	7	7	6	6	3	2	2
合計	16	1547	309	302	285	265	211	70	105

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
西脇市立西脇病院	西脇市	14	12	13	11	10	7		
	三木市	16	15	14	15	15	13		
	小野市加東市	11	11	11	10	9	9		
	加西市	11	11	11	11	10	7		
合計	4	52	49	49	47	44	36	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
兵庫県立 丹波医療センター	丹波市	21	20	17					
	丹波篠山市	7	6	6					
	多可郡多可町	2	2	1					
	朝来市	2	2	2					
合計	4	32	30	26	0	0	0	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
神戸市立 西神戸医療センター	神戸市西区	13							14
	神戸市垂水区	11							6
	神戸市須磨区	9							2
	三木市	2							
	明石市	1							
	神戸市東灘区	8							
	神戸市灘区	10							
	神戸市中央区	9							
	神戸市兵庫区	2							
	神戸市北区	5							
	神戸市長田区	6							
	姫路市	7							
	芦屋市	2							
	三田市	1							
	淡路市	1							
	西宮市	4							
	宝塚市	2							
	川西市	2							
	加西市	2							
佐用郡	1								
合計	20	98	0	0	0	0	0	0	22

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
市立伊丹病院	伊丹市	35	28	29	28	24	18	8	2
	宝塚市	28	24	23	22	23	16	6	3
	川西市	13	12	12	12	11	10	5	3
	猪名川町	2	2	2	2	1	1		
	三田市	17	16	16	16	14	14	4	2
	尼崎市	98	91	89	85	79	58	27	15
	西宮市	94	86	85	82	72	70	38	34
	芦屋市	10	8	8	8	7	8	6	7
	神戸市	2	2	2	1	1	1	1	1
	姫路市	1	1	1	1	1	1		
	大阪市	2	2	2	2	2	2	2	2
合計	11	302	272	269	259	235	199	97	69

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
兵庫県立がんセンター	明石市	101	81	82	75	74	51	14	44
	加古川市	52	45	44	42	43	37	6	7
	稲美町	8	6	6	4	6	4	1	2
	播磨町	8	7	7	7	7	6	1	2
	高砂市	25	20	20	20	22	18	1	0
	西区	50	46	42	40	36	29	8	19
	垂水区	49	41	37	32	37	25	9	17
	須磨区	17	15	16	12	11	10	2	1
	北区	13	12	12	10	8	8	2	1
	東灘区	10	8	9	9	8	6	0	2
	灘区	11	7	7	7	7	7	3	1
	中央区	20	15	16	13	11	8	3	2
	長田区	10	10	10	10	10	7	1	2

連携医療機関リスト集計

(2020年3月31日現在)

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
兵庫県立がんセンター	兵庫区	10	8	9	5	6	5	1	2
	三木市	23	17	15	18	20	14	4	4
	加西市	9	6	6	5	6	3	1	3
	加東市	7	5	6	5	5	3	0	1
	西脇市	13	8	8	7	10	4	3	3
	多可郡	5	5	5	5	5	1	1	1
	小野市	9	9	9	9	8	6	0	0
	姫路市	34	24	21	22	20	14	4	6
	神河町	1	1	1	1	1	1	1	1
	福崎町	1	1	1	1	1	1	1	1
	赤穂市	2	2	2	2	2	2	2	2
	宍粟市	2	2	2	2	1	1	1	1
	佐用町	1	1	1	1	1	1	0	0
	たつの市	4	4	4	4	4	2	2	3
	相生市	1	1	1	1	1	1	0	
	上郡町	1	1	1	1	1	1	0	0
	三田市	3	3	3	3	2	2	0	1
	宝塚市	2	0	0	0	0	1	1	0
	尼崎市	2	1	1	1	1	1	2	1
	西宮市	7	3	3	1	2	3	3	2
	南あわじ市	8	8	8	7	7	4	1	6
	淡路市	17	16	14	14	14	11	0	4
	洲本市	12	9	10	9	9	5	3	5
	豊岡市	10	9	7	6	6	2	1	4
	朝来市	5	5	5	5	4	2	1	3
	養父市	4	4	4	3	2	2	0	0
	香美町	2	1	1	1	0	2	0	1
	丹波市	8	6	5	3	3	1	1	3
	丹波篠山市	3	3	3	2	3	3	2	2
	大阪市北区	1	0	0	0	0	0	1	0
	大阪市東淀川区	1	0	1	0	0	0	0	0
	豊中市	1	1	1	0	0	0	0	0
	大阪市中央区	2	1	1	0	0	1	0	0
	吉野郡大淀町	1	0	0	0	0	0	0	1
大島郡知名町	1	1	1	1	1	1	1	1	
大阪市福島区	1	0	0	0	0	1	0	0	
大阪市淀川区	2	2	2	0	0	0	0	0	
京都府福知山市	1	1	1	1	1	1	0	1	
鳥取市	1	1	1	1	1	0	0	0	
寝屋川市	2	0	0	0	0	2	0	0	
東京都豊島区	1	0	0	0	0	1	0	0	
合計	54	595	483	472	428	428	322	89	163

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
兵庫県立 尼崎総合医療センター	尼崎市	84				26	58		
	伊丹市	12					12		
	宝塚市	3					3		
	芦屋市	2							2
	西宮市	1					1		
	神戸市	1							1
	大阪市	2				1	1		
合計	7	105	0	0	0	27	75	0	3

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
兵庫県立西宮病院	西宮市	88	79	78	75	65	63	25	33
	尼崎市	88	81	79	77	73	55	14	25
	伊丹市	29	27	27	27	24	19	2	6
	宝塚市	27	23	23	22	23	16	3	6
	三田市	17	16	16	16	14	14	2	4
	川西市	13	12	12	12	11	10	3	5
	芦屋市	8	7	7	7	6	7	5	5
	猪名川町	2	2	2	2	1	1	0	0
	神戸市	2	2	2	1	1	1	1	1
	姫路市	1	1	1	1	1	1	0	0
	大阪市	2	2	2	2	2	2	2	2
合計	11	277	252	249	242	221	189	57	87

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
西宮市立中央病院	西宮市	98	88	87	85	75	75	35	44
	芦屋市	12	10	10	10	9	9	6	6
	宝塚市	28	24	23	23	23	16	3	6
	三田市	17	16	16	16	14	14	2	4
	尼崎市	96	84	83	80	74	56	17	29

連携医療機関リスト集計

(2020年3月31日現在)

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
西宮市立中央病院	川西市	13	12	12	11	12	10	3	5
	猪名川町	2	2	2	2	1	1	0	0
	伊丹市	28	26	26	26	24	17	2	5
	神戸市	2	2	2	1	1	1	1	1
	大阪市	2	2	2	2	2	2	2	2
合計	11	298	266	263	256	235	201	71	102
施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
兵庫県立 加古川医療センター	加古川市	42	35	36	36	33	35		3
	高砂市	24	22	22	21	22	19		
	姫路市	9	8	8	7	8	6		
合計	3	75	65	66	64	63	60	0	3
施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
神鋼記念病院	神戸市	62	42	46	36	29	37	0	10
	芦屋市	6	2	3	1	1	2	0	1
	西宮市	6	0	0	0	0	7	0	2
	三田市	1	1	1	0	0	0	0	0
	加東市	1	1	1	0	0	0	0	0
	明石市	5	0	0	0	0	4	0	2
	丹波市	1	0	0	0	0	0	0	1
	宝塚市	1	0	0	0	0	1	0	0
	加古川市	1	0	0	0	0	1	0	0
	伊丹市	1	0	0	0	0	1	0	0
	川西市	1	0	0	0	0	1	0	0
合計	11	86	46	51	37	30	54	0	16
施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
神戸医療センター	神戸市	116	110	109	93	79	81		
	明石市	3	3	3	3	3	1		
	淡路市	2	2	2	2	2	2		
	伊丹市	1	1	1					
	加古川市	1	1	1	1	1	1		
	加西市	1	1	1	1		1		
	三田市	1	1	1	1	1			
	多可郡	1				1			
	西宮市	1	1	1	1	1	1		
	姫路市	3	3	3	3	3	3		
合計	10	130	123	122	105	91	90	0	0
施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
加古川中央市民病院	加古川町	18	11	11	9	7	10		10
	志方町	1	1	1	1	1	1		
	上荘町	1	1	1	1	1			
	神野町	1	1	1	1		1		1
	西神吉町	5	5	4	4	3	2		1
	東神吉町	2	2	2	1	1	1		1
	播磨町	7	5	5	5	5	4		4
	八幡町	1	1	1	1	1	1		
	尾上町	7	5	5	5	5	3		3
	平岡町	8	7	7	7	7	6		4
	米田町	1	1	1	1	1	1		
	別府町	5	4	5	5	3	5		3
	野口町	6	6	5	4	4	3		2
	稲美町	7	6	6	5	6	4		4
	姫路市	4	2	2	2	2	3		
	明石市	4	4	4	4	4	3		1
	高砂市	18	14	14	10	10	7		9
三木市	2	2	2	2	2	2			
合計	18	98	78	77	68	63	57	0	43
施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
製鉄記念広畑病院	姫路市	101	95	95	94	89	34	13	
合計	1	101	95	95	94	89	34	13	0
施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
北播磨 総合医療センター	三木市	18	17	16	15	14	11		
	小野市	10	10	10	10	9	7		
	加東市	4	4	4	3	4	1		
	加西市	9	9	9	8	8	7		
	西脇市	4	4	4	4	4	4		
	多可町	2	2	2	2	2	1		
	神戸市	15	15	15	11	9	10		
	明石市	2	1	1	1	1	2		
	加古川市	2	2	2	2	2	2		
高砂市	1	1	1	1	1	1			
合計	10	67	65	64	57	54	46	0	0

連携医療機関リスト集計

(2020年3月31日現在)

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
神戸赤十字病院	神戸市	22	20	21	19	20	19		
	明石市	1	1	1	1	1	1		
合計	2	23	21	22	20	21	20	0	0
施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
姫路中央病院	姫路市	7	3	4					
合計	1	7	3	4	0	0	0	0	0
施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
公立八鹿病院	養父市	9	9	9	9	8	5	0	0
	朝来市	6	5	6	5	5	3	0	0
合計	2	15	14	15	14	13	8	0	0
施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
三田市民病院	三田市	18	17	17	17	15	15		
	宝塚市	17	16	16	16	15	12		
	伊丹市	16	16	16	16	15	11		
	川西市	8	8	8	8	7	7		
	猪名川町	1	1	1	1	1	1		
	西宮市	32	32	32	32	28	28		
	尼崎市	43	42	41	41	37	29		
芦屋市	3	2	2	2	2	3			
合計	8	138	134	133	133	120	106	0	0
施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
神戸中央病院									
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
川崎病院	神戸市	1	1						
合計	1	1	1	0	0	0	0	0	0
施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
神戸市立医療センター 西市民病院	兵庫区	1							1
	須磨区	4							4
	長田区	1							1
合計	3	6	0	0	0	0	0	0	6
施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
宝塚市立病院	芦屋	9	9	9	9	9	9	7	7
	伊丹	24	24	24	24	23	17	2	6
	三田	16	16	16	16	14	14	3	5
	篠山	1	1	1	1	1	1	1	1
	神戸	1	1	1	1	1	1	1	1
	西宮	77	77	76	73	68	63	32	40
	川西	14	14	14	14	12	11	5	8
	川辺郡	4	4	4	4	3	3	2	2
	尼崎	81	81	77	75	68	52	15	26
宝塚	75	75	73	70	73	61	20	42	
合計	10	302	302	295	287	272	232	88	138
施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
市立川西病院	阪神北	1	1	9					
合計	1	1	1	9	0	0	0	0	0
施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
兵庫中央病院									
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
明石医療センター	明石市	3					3		
	加古川	1					1		
合計	2	4	0	0	0	0	4	0	0
施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
明石市立市民病院									
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
明和病院	西宮市	333	65	66	64	56	48	14	23
	芦屋市	32	5	5	5	5	5	4	3
	宝塚市	142	28	28	28	28	23	4	7
	三田市	82	16	16	16	14	14	2	4
	尼崎市	331	70	67	67	60	50	10	20
	川西市	71	14	14	14	12	11	2	4
	伊丹市	93	23	14	14	21	17	1	3
川辺郡	8	2	2	2	1	1			
合計	8	1092	223	212	210	197	169	37	64

連携医療機関リスト集計

(2020年3月31日現在)

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
神戸海星病院	神戸	2	2	2					
合計	1	2	2	2	0	0	0	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
姫路聖マリア病院	姫路市	111	105	104	101	96	66	0	2
	たつの市	1	1	1	1	1	1	0	0
	加東市	1	1	1	1	1	0	0	0
	加西市	1	1	1	1	1	0	0	0
	宍粟市	1	1	1	1	1	1	0	0
	朝来市	3	3	3	3	2	1	0	0
	神崎郡	5	5	5	5	5	2	0	0
	揖保郡	1	1	1	1	1	1	0	0
	多可郡	1	1	1	1	1	0	0	0
合計	9	125	119	118	115	109	72	0	2

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
高砂市民病院	明石市	1	2						
	加古川市	1	1						
合計	2	2	3	0	0	0	0	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
済生会兵庫県病院	神戸市	18	17	17	0	14	17		
	三田市	9	7	7	0	3	7		
	西宮市	2	2	2	0	2	2		
	三木市	1	1	1	0	1	1		
合計	4	30	27	27	0	20	27	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
神戸労災病院	神戸市中央区	23	23	23					
	神戸市灘区	21	21	21					
	神戸市東灘区	12	12	12					
	神戸市兵庫区	2	2	2					
	神戸市長田区	1	1	1					
	神戸市須磨区	1	1	1					
	神戸市西区	1	1	1					
	神戸市北区	4	4	4					
	芦屋市	1	1	1					
合計	9	66	66	66	0	0	0	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
新須磨病院									
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
市立芦屋病院	芦屋市	1	0	1					
合計	1	1	0	1	0	0	0	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
市立加西病院	明石市	1				1	2		
合計	1	1	0	0	0	1	2	0	0

施設名	地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
甲南医療センター	神戸	2	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	2	0	0	0	0	0	0	0

地域	連携医療機関数	胃がん	大腸がん	肝がん	肺がん	乳がん	子宮体がん	前立腺がん
352	7,106	4,323	4,200	3,838	3,636	3,097	658	1,108